

特別栽培農産物認証様式集の書き方について

(1) 申請に係る書類

- ・(様式第1号)特別栽培農産物認証申請書
〃(ハウス等の場合)
- ・(様式第2号)特別栽培農産物栽培責任者及び確認責任者届
- ・(様式第2号添付書)特別栽培農産物認証申請に伴う連絡先等について
- ・(様式第3号)福島県特別栽培農産物栽培計画書
- ・(様式第3号別添)使用予定資材の内容
- ・(様式第4号)福島県特別栽培農産物出荷・販売計画書
- ・(様式第5号)圃場概要図
〃(ハウス等の場合)

(2) 圃場設置看板

- ・(様式第7号)看板
〃(ハウス等の場合)

(3) 実績に係る書類

- ・(様式第9号)福島県特別栽培農産物栽培実績書
- ・(様式第9号別添)使用資材の内容
- ・(様式第10号)特別栽培農産物認証票交付申請書
- ・(様式第10号別添)個別明細
- ・(様式第13号送付表)特別栽培農産物出荷・販売実績書の報告について
- ・(様式第13号)福島県特別栽培農産物出荷・販売実績書
- ・(様式第14号)福島県特別栽培農産物認証票使用実績書
- ・(様式第14号別添)実績総括表

(4) その他

- ・(様式第25号):特別栽培農産物認証変更申請書
 - ・(様式第25-1号):特別栽培農産物認証責任者等変更申請書
 - ・(様式第25-2号):特別栽培農産物認証申請者等変更申請書
 - ・(様式第25号別添):特別栽培農産物認証変更申請に伴う記載事項(圃場変更等)
 - ・(様式第26号):特別栽培農産物認証中止届
- ※(参考)変更に必要な書類について

(様式第1号)

全国農業協同組合連合会
福島県本部長様

③【農産物(作型)】農産物
と地帯(作型)を記入。

(分類コードについて)
0:(その他)
1:JAふくしま未来
2:JA福島さくら
3:JA夢みなみ
4:JA会津よつば
5:JA東西しらかわ

⑤【節減区分について】 6区分

節減区分	略称(認証機関として)
節減対象農業減・化学肥料(窒素成分)減	減・減
節減対象農業減・化学肥料(窒素成分)不使用	減・化不
節減対象農業不使用・化学肥料(窒素成分)減	節不・減
節減対象農業不使用・化学肥料(窒素成分)不使用	節不・化不
農業不使用・化学肥料(窒素成分)減	農不・減
農業不使用・化学肥料(窒素成分)不使用	農不・化不

発No. ○
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

① 申請毎作成
し押印忘れず

申請者 ○○農業協同組合
住所 福島県○○市○○町○○
氏名 代表理事組合長 ○○○○印
(地区 ○○地区本部)

⑦【生産者登録番号】10桁
分類コード1桁+組合員コード9桁

④【栽培開始時期】
前作物の収穫後から

福島県 特別栽培農産物認証 申請書

特別栽培農産物認証業務要領第8条第1項に基づき、関係書類を添えて申請

⑥ 名称等で区別
が必要な場合記入

②【地区】○○地
区本部○支店等
(JAのみ)

農産物(地帯・作型): 米・コシヒカリ(中通り平
栽培開始時期: 令和 ○ 年 ○ 月

節減区分: 節減対象農業減・化学肥料(窒素成
名称(地区、型等): 元気米

生産者 登録番号	生産者名	住所	電話番号	圃場 番号	圃場所在地	新規	栽培面積 (a)	看板 設置場所	収穫予想 量(kg)	販売計画 量(kg)	認証票 必要数(枚)	備考
1001234567	福島 一郎	福島市○○○	024-554-0001	001	福島市○○○100		10.0	100	600	480	16	
1001234567	福島 一郎	福島市○○○1	024-554-0001	002	福島市○○○101		20.0	100	1,200	960	32	
1001234567	福島 一郎	福島市○○○1	024-554-0001	003	福島市○○○102	1	30.0	100	1,800	1,440	48	
	計				3圃場		60.0		3,600	2,880	96	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	001	福島市×××2		20.0	2	1,200	1,080	36	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	002	福島市×××3		25.0	2	1,500	1,350	45	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	003	福島市×××10		30.0	10	1,800	1,620	54	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	004	福島市×××20		30.0	10	1,800	1,620	54	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	005	福島市×××25		30.0	25	1,800	1,620	54	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	006	福島市×××310	1	35.0	310	2,100	1,890	63	
	計				6圃場		170.0		10,200	9,180	306	
	合計	11名			9圃場		230.0	659	13,800	12,060	402	

⑨【生産者
名】生産者ご
との「計」と全
体の「合計」
を記入

⑩【圃場番号】
前年の番号に関係なく、001(3桁)から順に番号。
1,2,3でも良い。(数字)申請後変更追加時は新No記
入。計欄  に何も入力しない。(修正履歴)

⑪【新規】
新規圃場は
「1」を記入。

⑫【栽培面積】
小数点第2位を四
捨五入し小数点第1
位とする。

⑬【販売計画量】
自家消費等を除いた
販売数量

⑭【認証票必要数】
玄米30Kg袋に1枚。
販売計画量(Kg)
÷30Kg+α(作況等)

⑮ 生産者毎計および合計の行を記載する。
(生産者数・圃場数・栽培面積・収穫予想量・販売計画量・認証票必要枚数)

注1)節減区分、農産物の種類、作型等が異なる場合は、それぞれ別様とする。

注2.)生産者毎に「計」、申請の「合計」を入れる。(生産者数、圃場数、栽培面積、収穫予想量、販売

注3)栽培面積:小数点1桁まで、他の数値は整数のみとする。

様式1号 エクセル上のポイント

発No. ○
 令和 ○年○月○日

申請者 ○○農業協同組合
 住所 福島県○○市○○町○○
 氏名 代表理事組合長 ○○○○ (印)
 (地区 ○○地区本部)

①【生産者名】
 生産者ごとに
必ず「計」記入。

②【圃場番号】
 の計欄に 
入力しない

福島県 特別栽培農産物認証 申請書

③【栽培面積】
 小数点第2位を四捨五入し
小数点第1位(単位:a)

④【面積以外】
 小数点以下四捨五入し
整数にする。

特別栽培農産物認証業務要領第8条第1項に基づき、関係書類を添えて申請します。

農産物(作型):米・コシヒカリ(中通り平坦)
 栽培開始時期:令和 ○年○月

節減区分:節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減
 名称(地区、型等):**元気米**

生産者登録番号	生産者名	住所	電話番号	圃場番号	圃場所在地	新規	栽培面積(a)	看板設置場所	収穫予想量(kg)	販売計画量(kg)	認証票必要数(枚)	備考
1001234567	福島 一郎	福島市○○○1	024-554-0001	001	福島市○○○100		10.0	100	600	480	16	
1001234567	福島 一郎	福島市○○○1	024-554-0001	002	福島市○○○101		20.0	100	1,200	960	32	
1001234567	福島 一郎	福島市○○○1	024-554-0001	003	福島市○○○102	1	30.0	100	1,800	1,440	48	
	計				3圃場		60.0		3,600	2,880	96	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	001	福島市×××2		20.0	2	1,200	1,080	36	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	002	福島市×××3		25.0	2	1,500	1,350	45	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	003	福島市×××10		30.0	10	1,800	1,620	54	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	004	福島市×××20		30.0	10	1,800	1,620	54	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	005	福島市×××25		30.0	25	1,800	1,620	54	
1002345678	福島 二郎	福島市×××2	024-554-0002	006	福島市×××310	1	35.0	310	2,100	1,890	63	
	計				6圃場		170.0		10,200	9,180	306	
【合計】を必ず記入する。(生産者数・圃場数・面積・収穫予想量・販売計画量・認証票必要枚)												
合計	2名				9圃場		230.0		13,800	12,060	402	

⑤【生産者数】「数字」
 ※表示形式:「#,##0"名"」
 =COUNTIF(○:○, "計")

⑥【圃場番号】「数字」(文字は×)
 数字直接入力(1,2,3) または
 3桁0表示001(3桁)の数字。
 ※表示形式:「000」。

⑦【圃場数】「数字」※表示形式:「#,##0"圃場"」
 =SUBTOTAL(3, ○:○)

⑧【小計、中計、合計】一括指定で便利な
 =SUBTOTAL(9, ○:○)

※表示形式 : セル右クリック⇒セルの書式設定⇒表示形式⇒ユーザー定義⇒種類で設定

(様式第2号)

○ 発No. ○
令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

全国農業協同組合連合会
県 本 部 長 様

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名)○ (印)
(地区 ○)
① JAのみ:○○地区本部○支店等

特別栽培農産物栽培責任者及び確認責任者届

標記のことについて、特別栽培農産物認証業務要領第8条第1項に基づき、特別栽培農産物の栽培責任者及び確認責任者を届出します。

1. 栽培農産物(作型)

- (1) 農産物(作型): ○
(2) 節減区分: ○
(3) 名称(地区、型等): ○

② 【栽培農産物(作型)】等を記入

③ 名称等で区別する場合、記入する。

2. 栽培責任者

(1) 氏 名 福島 三郎
職 業 団体職員

(組織に所属している者は下記についても記入)
所属名 ○○○農業協同組合
役職名 生産販売課 係長
職務内容 営農指導

(2) 特別栽培農産物栽培経験年数又は指導経験年数
指導経験10年、うち特別栽培農産物指導3年

④ 【栽培責任者】

圃場における栽培管理を行う者又はその管理の指導を行う者。

3. 確認責任者

(1) 氏 名 福島 四郎
職 業 団体職員
(組織に所属している者は下記についても記入)
所属名 ○○○農業協同組合
役職名 営農部 部長
職務内容 営農生産・販売業務

(2) 特別栽培農産物栽培経験年数又は指導経験年数
営農生産指導20年、うち特別栽培農産物生産指導1年

⑤ 【確認責任者】

栽培の管理方法を調査し、管理等に係る記録内容を確認するものであって栽培責任者による管理等について必

⑥ 【注意点】

- 注意1 栽培責任者と確認責任者は兼務できない。
注意2 同一栽培(使用する農薬・肥料が全く同じ)の申請が複数あっても、栽培責任者が違うと、その農産物は混合販売することができないので注意すること。

(様式第2号添付書)

○ 発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

全国農業協同組合連合会
福島県本部長 様

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名)○
(地区 ○)

特別栽培農産物栽培認証申請に伴う連絡先等について

特別栽培農産物認証業務要領第8条第1項に基づき、関係書類を添えて申請するにあたり事務局及び連絡先等を提出します。

1. 栽培農産物(作型)
 - (1) 農産物(作型): ○
 - (2) 節減区分: ○
 - (3) 名称(地区、型等): ○

2. 栽培責任者

- (1) 氏名 ○

3. 確認責任者

- (1) 氏名 ○

4. 連絡先(事務局)

- (1) 氏名
- (2) 所属(職業)
- (3) 役職名
- (4) 住所(所在地)
- (5) 郵便番号
- (6) 電話番号
- (7) 携帯電話番号
- (8) ファクシミリ
- (9) Eメール

① JA等組織で各支店に担当者
がいる場合

⇒ 担当者連絡一覧表(別紙)
を添付する。

注) 1-(2)節減区分: ~節減区分により責任者が違う場合には記入する。

注) 現地検査等で活用するため特裁を担当する本店・支店担当者も含めて連絡願います。
変更があった場合は、速やかにご報告願います。

(様式第3号)

福島県 特別栽培農産物栽培 計画書

(記入者: 福島 三郎)

節減区分: 節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減	名称(地区、型等)
農産物名(作型): 米・コシヒカリ(中通り平坦)	元気米

①【名称】
区分必要な場合記入。

③	氏名	住所(勤務地)	電話番号
栽培責任者	福島 三郎	福島市△△△3	024-554-0003
確認責任者	福島 四郎	福島市△△△3	024-554-0003

④【確認日】申請者自ら圃場状況・栽培日誌などを確認する予定日。確認したら報告書を作成する。
(実施確認日と報告書の実施日は一致)

申請者	○○○	
(地区)	○ ○ ○地区本部 ○支店等(JAのみ)	
栽培責任者及び確認責任者の現地確認等予定		
項目	栽培責任者	確認責任者
栽培計画書確認	RO/1/15	RO/1/15
圃場確認	RO/5/10	RO/5/10
現地確認	RO/7/10	RO/7/10
現地確認	RO/8/25	RO/8/25

⑤ 使用育苗の入手方法・処理内容等(該当するものを○で囲む)

種子	苗	培土使用
消毒種子購入	自家苗	有
未消毒種子購入	購入苗	無し

⑪ 自ら消毒した場合月日記入。
消毒済種子購入・委託苗の肥料農薬使用日は不明なので月日に購入種子・購入苗記入。

⑥

前作収穫終了後	RO/11
当該の収穫終了	RO/10

作業内容(グループ全体)

月日	作業名
4/20-25	播種
5/5-8	耕起
5/10-12	代かき
5/15-16	田植え
8/5-10	出穂
10/5-10	刈り取り

⑦【作業内容】
作業日は予定日 ○/○-○/○
肥料・農薬以外の作業日等を記入。
(農薬使用基準の判断)

使用資材

使用時期 月日	資材名	使用量 (10a当)	うち化学由来 窒素使用量
RO/11/20-30	牛糞堆肥	1000 kg	0 kg
4/10-15	ふくしまの米専用培土	60 kg	0.04 kg
4/20-25	ケイカリン	60 kg	0 kg
4/20-25	水稻専用基肥	40 kg	1.96 kg
7/20-25	水稻専用追肥	15 kg	0.74 kg

⑧【施肥】生産者毎(圃場毎)で、最多の化学由来窒素量の施肥体系を記入。資材名は正確に。
・培土など育苗期間中の肥料・農薬もカウントの対象になるため、購入苗も証明書等で確認。(野菜苗等)
・化学由来窒素を資材毎に計算し
小数点3位以下を切り上げ、小数点2位で表示。

⑨ 化学由来窒素 合計 2.74kg

資材

使用時期 月日	農薬名	使用薬量10a (kg・L・ml) /10a、g/箱	成分使用回数
購入種子	温湯消毒	-	0回
4/15	Dr. オリゼパディート粒剤	50g/箱	2回
5/15-20	キマリテ1キロ粒剤	1kg	2回
5/20-30	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	1回
5/30-6/10	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	3kg	1回
7/15	コラトップ1キロ粒剤12	1kg	1回
8/10	スタークル1キロ粒剤(無人ヘリ)	1kg	1回

⑫【防除】
・剤型が複数ある場合、代表の剤型を記入。
(使用基準の使用時期の範囲が長い剤型)
・消毒済種子を購入の場合は消毒内容を記載する。
・空散計画がある場合記入(例:無人ヘリ、ドローン)

⑬ 成分使用回数合計 8回

県の基準値	⑩ 慣行基準	農産物・地帯・作型	化学由来窒素量	節減割合(割減)	慣行基準	⑭	成分使用回数(回)	節減割合(割減)
		コシヒカリ・中通り・平坦	6kg	5.4割減		17回	5.2割減	

注1) 作業内容及び使用農薬は、前作の収穫終了後から当該作物の収穫終了時までのものを全て記入する。代表剤型を第3号へ、他の剤型は第3号別添へ記入す
注2) 使用肥料は、化学由来窒素の最大の使用量・月日・資材を記入する。注3) 単位、節減割合～小数点1桁まで、化学由来窒素量～小数点2桁まで記入する。
※「作業内容」、「病虫害雑草防除」(網掛)はグループ全体の内容を記入。「施肥・土づくり・培土等」は化学由来窒素が最大の施肥体系を記載する。購入苗の施肥も記入する。

作業内容について

米	野菜	果樹
種子消毒 (温湯処理含む) 播種 耕起 代かき 田植え (機械除草等) 出穂 刈取り	播種 耕起、畦立て 中耕 マルチ張り (仮植) 定植 収穫	剪定 誘引 摘果(粒・蕾・房) 交配(受粉) (袋かけ) 除草 着色管理 収穫

- ※ 農薬使用基準および栽培期間の特定に使用するため、太字の重要項目は必ず記入する。各項目は第3号・第9号の作業内容および栽培管理日誌にも記入する。
- ※ 月日は複数日にわたる場合「○/○～○/○」と記入する。

農薬の代表剤型について(Ⅰ)

農薬使用基準の**使用時期の範囲が長い**剤



代表剤型

(第3号は代表剤型のみ記入)

代表剤型	農薬名	使用基準(使用時期)
○	ソルネット1キロ粒剤	植代後～移植前7日まで、 移植時 、移植直後～ $\text{L}^{\circ}\text{I}1$ 葉期 ただし、移植後30日まで
	エリジャン乳剤	植代後～移植7日前まで、 移植直後 ～ $\text{L}^{\circ}\text{I}1$ 葉期 ただし、移植後30日まで
	エリジャンジャンボ	植代後～移植前7日まで、 移植直後 ～ $\text{L}^{\circ}\text{I}1$ 葉期 ただし、移植後30日まで
○	ボデーガードプロ1キロ粒剤	移植時 、 移植直後 ～ $\text{L}^{\circ}\text{I}3.5$ 葉期 ただし、移植後30日まで
	ボデーガードプロフロアブル	移植後5日～ $\text{L}^{\circ}\text{I}3.5$ 葉期 ただし、移植後30日まで
	ボデーガードプロジャンボ	移植後5日～ $\text{L}^{\circ}\text{I}3$ 葉期 ただし、移植後30日まで
○ または (○)	キマリテ1キロ粒剤	移植時 、移植直後～ $\text{L}^{\circ}\text{I}3$ 葉期 但し、移植後30日まで
	キマリテジャンボ	移植直後～ $\text{L}^{\circ}\text{I}3$ 葉期 但し、移植後30日まで
	キマリテフロアブル	移植時 、移植直後～ $\text{L}^{\circ}\text{I}3$ 葉期 但し、移植後30日まで
3号に記入した資材も含め すべての資材(剤型)を記入 。資材名は正式名称で記入。		

農薬の代表剤型について(Ⅱ)

農薬使用基準
の使用時期の
範囲が同じ場
合、

グループ内で
の使用頻度が
多い剤



代表剤型

使用者人数	農薬名	使用時期
60名	クリンチャー1キロ粒剤	移植後7~25日/E3葉期まで但し収穫40日前まで
15名	クリンチャージャンボ	移植後7~25日/E3葉期まで但し収穫40日前まで
20名	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	移植後15~55日 但し収穫60日前まで
10名	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	移植後15~55日 但し収穫50日前まで
1名	コラトップ粒剤5	葉いもちに対しては初発10日前~初発時 穂いもちに対しては出穂30日前~5日前まで
50名	スタークル粒剤	収穫7日前まで
5名	スタークル粉剤DL	収穫7日前まで
20名	スタークル液剤10	収穫7日前まで

(様式第3号別添) 使用予定資材の内容

1. 農薬 ① 3号に記入した資材も含め**すべての資材(剤型)を記入**。資材名は**正式名称**で記入。④ 成分使用回数の記入

農薬名	購入先 (住所/電話番号)	製造会社名 (住所/電話番号)	成分名及び%	希釈 倍数	予定使用薬量 10a当kg・L・ml	使用時期	対象病害虫・雑草等	成分使 用回数		
Dr. オリゼパディート粒剤	JA〇〇 〇〇〇〇 TELO	北興化学工業(株) 宮城県仙台市青葉区花 京院一丁目1番10号 (022)263-4331(代表)	シアントラニリプロール0.75%	-	50g/箱	4/15	いもち病、イネドロオイ ムシ、イネミズゾウム シ、ツマグロヨコバイ、ヒ メトビウンカ	2回		
			プロベナゾール24%							
キマリテ1キロ粒剤			クミアイ化学工業(株) 仙台市宮城野区榴岡3- 6-30 022-295-7123	イプフェンカルバジン2.5%	-	1kg	5/15-15	水田一年生雑草、マツ バイ、ホタルイ、ヘラオ モダカ、ミズガヤツリ、 ウリカワ、クログワイ、オ モダカ	2回	
				テフリルトリオン3%						
キマリテジャンボ				イプフェンカルバジン8.3%	-	10個(300g)				2回
				テフリルトリオン10%						
キマリテフロアブル				イプフェンカルバジン5%	-	500ml				2回
				テフリルトリオン6%						
クリンチャー1キロ粒剤			シハロホップブチル1.8%	-	1kg	5/20-30	ノビエ	1回		
クリンチャージャンボ			シハロホップブチル1.8%	-	(50g×20個)1kg			1回		
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	クミアイ化学工業(株) 仙台市宮城野区榴岡3- 6-30 022-295-7123	クミアイ化学工業(株) 仙台市宮城野区榴岡3- 6-30 022-295-7123	ベンタゾン11%	-	3kg	5/30-6/10	一年生雑草(イネ科を除く) マツバイ、ホタルイ、ウリカ ワ、オモダカ、ミズガヤツリ、 ヘラオモダカ、クログワイ、コ ウキヤガラ	1回		
バサグラン液剤(ナトリウム塩)			ベンタゾン40%	100倍	500~700ml			1回		
コラトップ1キロ粒剤12			ピロキロン12%	-	1kg	7/15	いもち病	1回		
コラトップ粒剤5			ピロキロン5%	-	3kg			1回		
スタークル粒剤	〇〇(株) 〇〇 tel〇〇	〇〇(株) 〇〇 tel〇〇	ジノテフラン1%	-	3kg	8/10	カメムシ類、 ニカメイチュウ	1回		
スタークル1キロH粒剤			ジノテフラン3%	-	1kg			1回		
スタークル粉剤DL			ジノテフラン3%	-	3kg			1回		
スタークル液剤10			ジノテフラン10%	8倍	0.8L			1回		

② 農薬は、農林水産省 農薬登録情報提供システムで確認。

③ 品目が多い場合は欄を伸ばし追加記入する。

2. 肥料・土壌改良資材及び堆肥等(施肥及び土作り資材)

資材名	購入先 (住所/電話番号)	製造会社名 (住所/電話番号)	成分名及び%	予定使用量 10a当り	使用目的	全窒素成 分量10a当り	有機態窒 素割合%	化学肥料窒 素成分10a当
ケイカリン	JAOO	ジェイカムアグリ(株) いわき市小名浜字高山34 0246-54-3676	P-K-苦土-珪酸 12-12-5.6-20	60kg	土壌改良	0kg	0.0%	0kg
水稲専用基肥			N-P-K 10-8-8 Mg2	40kg	基肥	4.00kg	51.0%	1.96kg
水稲専用追肥			N-P-K 10-1-8 Mg1	15kg	追肥	1.50kg	51.0%	0.74kg

【化学肥料由来窒素成分の計算】
 小数点3桁以下を切り上げ、小数点2桁で記入。
 水稲専用基肥: 4Kg × 49%=1.96
 水稲専用追肥: 1.5Kg × 49%=0.735 →0.74
 培土: 60kg × 0.056%=0.0336 →0.04

3. その他資材

資材名	購入先 (住所/電話番号)	製造会社名 (住所/電話番号)	成分名及び%	予定使用量 10a当り	使用目的	全窒素成 分量10a当り	有機態窒 素割合%	化学肥料窒 素成分10a当
ふくしまの米専用培土	JAOO	〇〇(株) 〇〇 tel〇〇	N-P-K 0.065-0.129-0.05箱当培土3.0kg	60kg (20箱/10a)	育苗	0.04kg	0%	0.04kg

4. 自家製造資材の原料・製造方法

資材名	原料及び使用量	製造方法	使用目的	予定使用量 10a当り	使用目的	全窒素成 分量10a当り	有機態窒 素割合%	化学肥料窒 素成分10a当
牛糞堆肥	稲わら、牛糞 (化学肥料混合無)	堆肥盤にて熟成	土壌改良	1000kg	土壌改良	-	100%	0kg

注1. 資材は、前作の収穫終了後から使用したものをすべて記載する。

(様式第4号)

福島県特別栽培農産物出荷・販売計画書

(記入者: 福島 三郎)

生産者名	福島 一郎	節減区分	節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減	申請者	〇〇〇
生産者番号	1001234567	農産物(作型)	米・コシヒカリ(中通り平坦)	(地区)	〇〇〇〇
収穫時期	RO/10/5 - 10	出荷時期	① RO/10/10 - 20	名称	〇〇〇〇

② 同申請内に複数申請があり区別する場合、名称を用いる

	予定出荷・販売年月日	形態別出荷・販売予定数量(個数)				出荷・販売数量①~④計 kg(個数)	認証票使用枚数			予定出荷・販売先 (販売先名称・住所・電話番号)
		フレコン(バラ) ①(規格 1,080kg/個)	束 ②(規格 〇〇kg/個)	袋 ③(規格 30kg/個)	箱 ④(規格 〇〇kg/個)		中	小	合計	
全栽培面積	60.0 a									〇〇〇
全収穫量	3,600 kg	フレコン 2袋		24個		2,880kg (2袋+24個)	26		26	〇〇
全販売量	2,880 kg	④ (様式第1号) の生産者毎計と同じ数量								TELOO
合計(kg、枚)		2,160kg		720kg		2,880kg	26		26	

③ 出荷単位を記入

④ (様式第1号)の生産者毎計と同じ数量

⑤ 同じ数量

注 生産者毎に作成する。

圃場に複数のハウス等がある場合

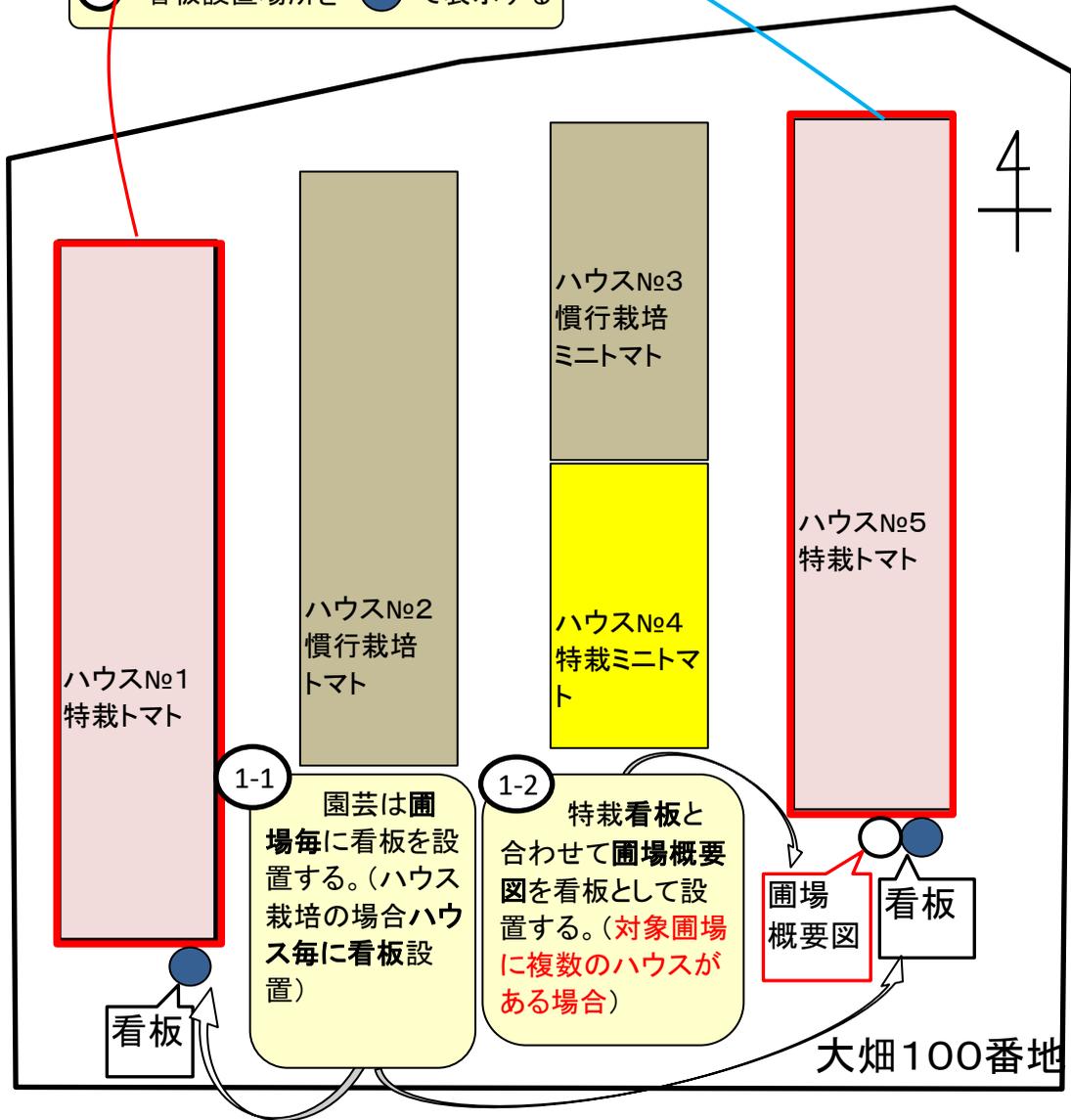
(様式第5号)

圃場概要書(圃場の内容及び位置図)

申請者		(株)〇〇ファーム	
(地区)		〇〇	
生産者名	福島 一郎	生産者番号	1001234567
圃場地番	福島市飯坂町字大畑100	面積	面積 : 4a、4a
	ハウス No.1、No.5、		計8a
農産物名(作型、名称)	トマト	節減区分	節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減
栽培期間(前作収穫終了後～本作収穫終了まで)			令和〇年11月～令和〇年10月(12ヶ月間)

位置図

① 看板設置場所を ● で表示する



- 注1. 各圃場の字地番がわかるように記入すること。
 注2. 看板が設置される圃場には●を記してください。
 注3. 当該圃場が周辺の影響を受けないことがわかるよう、隣接農用地、区画、農道、用水・排水路などを記入する。

(様式第7号)看板

- ① 看板の様式を守りながら台紙を淡い色やカラー線を引くなど識別性を高めるため工夫をすることは可とします。

特別栽培農産物 生産ほ場 (農林水産省新ガイドラインによる)

ほ場番号 所在地 面積(a)

○ 001 字千枚田100番地 10.0a

002 字千枚田101番地 20.0a

003 字千枚田102番地 30.0a

② 看板設置場所には、○印をつけてください

③ 水稻の連坦団地で継続の時は圃場5枚まで列記できる。(新規でないこと)

④ 【記入の方法】

圃場番号(枝番3桁)・字地番・面積は必ず記入する。
※見やすいようフォントは大きめ
(本文:22ポイントゴシック体、題字:26ポイント)

⑤ 前作収穫終了後の月日になります。

農産物名(名称等)	米・コシヒカリ(●米)
特別栽培開始年月日	令和○年11月1日
申請者(地区)	福島特裁米研究会
栽培責任者	福島三郎
生産者	福島一郎

- 注:1) 看板の大きさはA4版とする。
2) 看板は見やすい高さや方向に注意し設置する。
3) この看板の設置ほ場に○印をつけてください

注意書きは印刷しないでください。

(様式第7号)看板

① 看板の様式を守りながら台紙を淡い色やカラー線を引くなど識別性を高めるため工夫をすることは可とします。

特別栽培農産物 生産ほ場 (農林水産省新ガイドラインによる)

ほ場番号	所在地	面積(a)
001	字大畑100番地	No.1 4.0a

② 【記入の方法】
圃場番号(枝番3桁)・字地番・面積は必ず記入すること。
※見やすいようフォントは大きめ
(本文:22ポイントゴシック体、
題字:26ポイント)

③ 【ハウス栽培の場合】
ハウスNoを記入する。

園芸は圃場毎(ハウス 毎)に看板を設置する

農産物名(名称等)	トマト(元気トマト)
特別栽培開始年月日	令和〇年11月1日
申請者(地区)	(株)〇〇ファーム
栽培責任者	福島三郎
生産者	福島一郎

- 注:1) 看板の大きさはA4版とする。
2) 看板は見やすい高さや方向に注意し設置する。
3) この看板の設置ほ場に〇印をつけてください

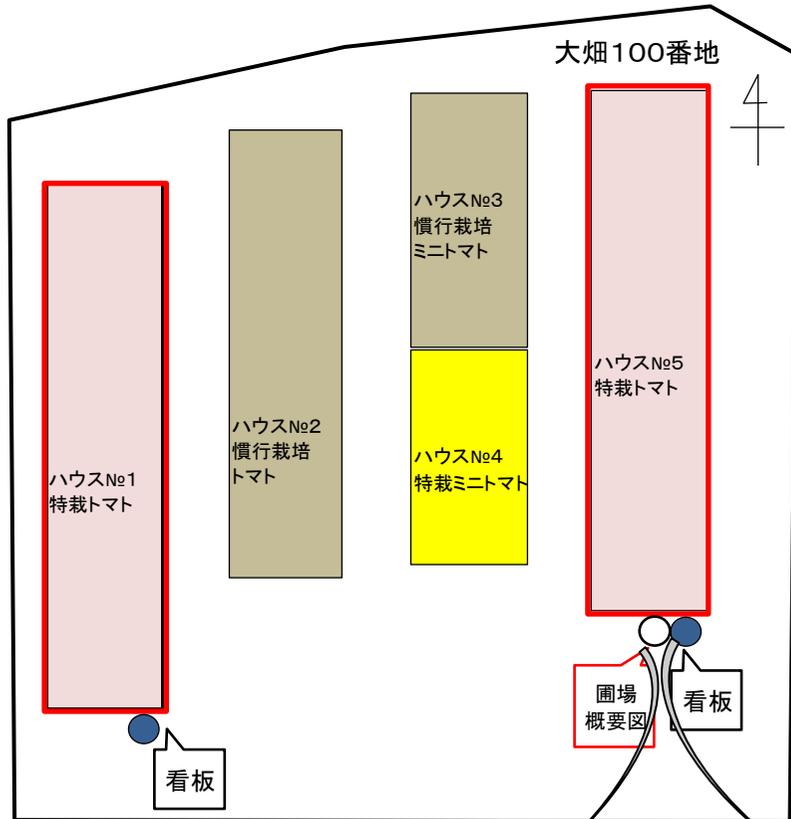
注意書きは印刷しないでください。

看板設置イメージ 圃場に複数のハウス等がある場合

(様式第5号)

圃場概要書(圃場の内容及び位置図)		申請者	株〇〇ファーム
		(地区)	〇〇
生産者名	福島 一郎	生産者番号	1001234567
圃場地番	福島市飯坂町字大畑100 ハウス No.1、No.5.	面積	面積 : 4a、4a 計8a
農産物名(作型、名称)	トマト	節減区分	節減対象農業減・化学肥料(窒素成分)減
栽培期間(前作収穫終了後～本作収穫終了まで)	令和〇年11月～令和〇年10月(12ヶ月間)		

位置図



特別栽培農産物 生産ほ場 (農林水産省新ガイドラインによる)

ほ場番号 所在地 面積(a)

002 字大畑100番地 No.5 4.0a

(圃場に複数のハウス等がある場合)
特栽培看板と合わせて圃場概要図を看板として
設置する。

農産物名(名称等)	トマト(元気トマト)
特別栽培開始年月日	令和〇年11月1日
申請者(地区)	株〇〇ファーム
栽培責任者	福島 三郎
生産者	福島 一郎

(様式第9号)

福島県 特別栽培農産物 栽培実績書

(記入者: 福島 三郎)

節減区分	節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減		
農産物名(作型)	米・コシヒカリ(中通り平坦)		
名称(地区、型等)	元気米		
②	氏名	住所(勤務地)	電話番号
栽培責任者	福島 三郎	福島市△△△3	024-554-0003
確認責任者	福島 四郎	福島市△△△3	024-554-0003

① 名称等で区別
必要な場合記入。

④ 申請者自ら圃場状況・栽培日誌などを確認する日。確認したら報告書作成。(月)

申請者	JA〇〇	
③ (地区)	〇〇地区本部〇支店等(JAのみ)	
栽培責任者及び確認責任者の現地確認等実績		
項目	栽培責任者	確認責任者
栽培計画書確認	RO/1/15	RO/1/15
圃場確認	RO/5/10	RO/5/10
現地確認	RO/7/10	RO/7/10
現地確認	RO/8/25	RO/8/25

⑤ 使用育苗の入手方法・処理内容等(該当するものを○で囲む)		
種子	苗	培土使用
消毒種子購入	自家苗	有
未消毒種子購入	購入苗	無し

⑥ 前作収穫終了後	RO/11
当該の収穫終了	RO/10

作業内容(グループ全体)		使用資材							
		施肥・土づくり・培土等(化学由来窒素最大者の内容)				病虫害・雑草防除(グループ全体)			
作業月日	作業名	使用時期月日	資材名	使用量	うち化学由来窒素使用量	使用時期月日	農薬名	使用薬量(10a当り、kg・L)	成分使用回数
4/20	播種	3/20	牛糞堆肥	1000 kg	0.00 kg	購入苗	温湯消毒	-	0回
5/5-8	耕起	4/20	ふくしまの米専用培土	60 kg	0.04 kg	4/20	アユマインフロアブル	0.5ml/箱	1回
5/10-12	代かき	5/3	ケイカリン	60 kg	0.00 kg	5/15	ツインターボ箱粒剤08	50g/箱	2回
5/15-16	田植え	5/3-4	みらいろ物語			5/25-27	ポデーガードプロ1キロ粒剤	1kg	2回
8/12	出穂		有機入水稻専用一発	40 kg	1.96 kg	6/15-16	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	3kg	1回
10/1-10	刈り取り(予定)	7/18-19	マイルド有機828	20 kg	0.75 kg	7/25	スタークル液剤10(無人ヘリ)	100ml	1回
		⑧ グループ内で、最も化学由来窒素量の多い生産者の施肥体系を記入。資材名称は正しく。 ・培土など育苗期間中の肥料・農薬もカウントの対象になるため、購入苗も証明書等で確認。(野菜苗等) ・化学由来窒素kgを資材毎に計算し 小数点3位以下を切り上げ、小数点2位で表示。				⑩ 剤型が複数ある場合、代表の剤型を記入。 (使用基準の使用時期の範囲が長い剤型) ・消毒済種子を購入の場合は消毒内容を記載する。 ・無人ヘリ・ドローン等がある場合記入(例:無人ヘリ)			
⑦ 作業日は予定日 ○/○-○/○で。 肥料・農薬以外の作業日等を記入。(農薬使用基準の判断)		⑨ 化学由来窒素最大量使用者		生産者番号	化学由来窒素合計	合計		⑪	7回
		生産者	福島一郎	1234567	2.75 kg				

⑫ 県の基準値	慣行基準	農産物・地帯・作型	化学由来窒素節減割合(割減)	慣行基準	⑬	成分使用回数(回)	節減割合(割減)
		コシヒカリ・平坦地	6kg 5.4割減			17回	5.8割減

注1) 作業内容及び使用農薬は、前作の収穫終了後から当該作物の収穫終了時までのものを全て記入する。代表剤型を第3号へ、他の剤型は第3号別添へ記入
 注2) 使用肥料は、化学由来窒素の最大の使用者の量・月日・資材を記入する。注3) 単位、節減割合～小数点1桁まで、化学由来窒素量～小数点2桁までで記す
 ※「作業内容」、「病虫害雑草防除」(網掛)はグループ全体の内容を記入。「施肥・土づくり・培土等」は化学由来窒素が最大の施肥体系を記載する。購入苗の施肥も記入する。

(様式第9号別添) 使用資材の内、**① 農薬は、農林水産省 農薬登録情報提供システムで確認。** **③ 品目が多い場合は欄を伸ばし追加記入。**

1. 農 薬 **② 9号に記入した資材も含めすべての資材(剤型)を記入。資材名は正しく** **④ 成分使用回数の記入**

農薬名	購入元 (住所/電話番号)	製造会社名 (住所/電話番号)	成分名及び%	希釈 倍数	予定使用薬量 10a当kg・L・ml	使用時期 (使用基準)	対象病害虫・雑草等	成分使用 回数
ナエファインフロアブル	JA〇〇	〇〇(株) 所在地 tel〇〇	ピカルブトラゾクス10.0%	-	0.5ml/箱	4/20	ムレ苗防止、立ち枯病、ピシウム菌)、根生育促進、活着促進	1回
ツインターボ箱粒剤08	〇〇〇〇 TELO	〇〇(株) 所在地 tel〇〇	クロアチニジン0.8% イソチアニル2.0%	-	50g/箱	5/15	いもち病、白葉枯病、苗立枯細菌病、苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)、穂枯れ、もみ枯細菌病、ウシカ類、イネミスゾウムシ、イネドロオウムシ、イネヒメハモグリハエ、ツマグロヨコバイ	2回
ボデーガードプロ1キロ粒剤		〇〇(株) 所在地 tel〇〇	テフリルトリオン3.0% トリアファモン0.5%	-	1kg	5/25-27	水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワ、クログワイ、オモダカ ヒルムシロ、セリ、シズイ	2回
ボデーガードプロフロアブル	テフリルトリオン5.8% トリアファモン0.97%		-	500ml				
ボデーガードプロジャンボ	テフリルトリオン10.0% トリアファモン1.6%		-	250g				
バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	〇〇(株) 所在地 tel〇〇		ベンタズン11% ベンタズン40%	- 100倍	3kg 500~700ml			
スタークル1キロH粒剤		〇〇(株) 所在地 tel〇〇	ジノテフラン3% ジノテフラン10%	- 8倍	1kg 100ml	7/25	カメムシ類、ニカメイチュウ	1回

2. 肥料・土壌改良資材及び堆肥等(施肥及び土作り資材)

資材名	購入先 (住所/電話番号)	製造会社名 (住所/電話番号)	成分名及び%	予定使用量 10a当り	使用目的	全窒素成 分量10a当り	有機態窒 素割合%	化学肥料窒 素成分10a 当
ケイカリン	JAOO	〇〇(株) 〇〇 tel〇〇	P-K-苦土-珪酸 12-12-5.6-20	60kg	土壌改良	0kg	0.0%	0kg
みらいろ物語 有機入り水稻専用基肥一発		〇〇(株) 〇〇 tel〇〇	N-P-K 10-8-8 Mg2	40kg	基肥	4.00kg	51.0%	1.96kg
マイルド有機828		〇〇(株) 〇〇 tel〇〇	N-P-K 8-2-8	20kg	追肥	1.60kg	53.7%	0.75kg

3. その他資材

資材名	購入先 (住所/電話番号)	製造会社名 (住所/電話番号)	成分名及び%	予定使用量 10a当り	使用目的	全窒素成 分量10a当り	有機態窒 素割合%	化学肥料窒 素成分10a 当
ふくしまの米専用培土	JAOO	〇〇(株) 〇〇 tel〇〇	N-P-K 0.065-0.129-0.05箱当り 培土3.0kg。	10a当り育苗箱 20枚使用 60kg	育苗	0.04kg	0.0%	0.04kg

4. 自家製造資材の原料・製造方法

資材名	原料及び使用量	製造方法	使用目的	予定使用量 10a当り	使用目的	全窒素成 分量10a当り	有機態窒 素割合%	化学肥料窒 素成分10a 当
牛糞堆肥	稲わら、牛糞 (化学肥料混合無)	堆肥盤にて熟成	土壌改良	1000kg	土壌改良	-	100%	0kg

注1. 資材は、前作の収穫終了後から使用したすべて記載する。

① (有機由来窒素% ⇒ 化学由来窒素%)
100%-51%=49%

【化学肥料由来窒素成分の計算】

小数点3桁以下を切り上げ、小数点2桁で記入。

みらいろ物語水稻専用基肥一発: $40\text{kg} \times 10\% \times 49\% = 1.96\text{kg}$ 、

マイルド有機828: $20\text{kg} \times 8\% \times 46.3\% = 0.7408 \rightarrow 0.75\text{kg}$ 、

ふくしまの米専用培土: $60\text{kg} \times 0.056\% = 0.0336 \rightarrow 0.04\text{kg}$

(様式第10号)

① 第10号は申請者毎に作成する。

○ 発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

全国農業協同組合連合会
福島県本部長 様

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名)○
(地区 ○)

特別栽培農産物認証票交付申請書

特別栽培農産物認証業務要領第12条及び第16条第1項に基づき、次のとおり認証票の交付を申請します。

② 名称等で区分する場合、記入する。

農産物名 (作型、名称)	節減区分	認証票規格及び数量(枚)			販売数量(kg)
		中	小	合計	
米・コシヒカリ (中通り平坦、元気米)	節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減	402		402	12,060
米・コシヒカリ (中通り平坦)	節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)不使用	200		200	6,000
米・ひとめぼれ (中通り平坦)	節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減	120		120	3,600
<p>③ 申請(の種類)毎に改行し作成する。 (例)JA〇〇から3申請あった場合: 1枚</p>					
<p>④</p> <p>注1 認証票は、その年に生産された農産物を認証するもの、 年度持ち越しはできません。</p> <p>注2 不足が生じないよう適正な数量で注文(申請)願います。</p> <p>注3 残余分も適正に管理してください。</p>					
合計		722		722	21,660

添付書類:様式第10号別添 特別栽培農産物認証票交付申請(個別明細)を添付する。

(様式第13号送付表)

① 必ず提出する。

発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

全国農業協同組合連合会
福島県本部長様

② 月日を忘れずに

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名)○
(地区 ○)

③ 押印を忘れずに

特別栽培農産物出荷・販売実績書の報告について

福島県本部特別栽培農産物認証業務要領第15条第1項に基づき、必要書類を添えて報告
します。

記

1.添付書類 特別栽培農産物出荷・販売実績書(様式第13号)

以上

(様式第13号)

福島県特別栽培農産物出荷・販売実績書

(記入者: 福島 三郎)

① ※申請ごと(品種・作型、節減区分ごと)に記入してください

② JAのみ: ○○地区本部○支店

生産者名	福島 一郎	節減区分	節減対象農薬減・化学肥料(窒素成分)減	申請者	○
生産者番号	1001234567	農産物(作型)	米・コシカリ(中通り平坦)	(地区)	○
収穫時期	RO/10/5 - 10	出荷時期	RO/10/10 - 20	名称	○

③ 名称等で区分

	出荷・販売年月日	形態別出荷・販売数量(個数)				出荷・販売数量①~④計 kg(個数)	認証票使用枚数(枚数)			出荷・販売先 (販売先名称・住所・電話番号)
		フレコン(バラ)①規格 1,080 kg/個	束②(規格○ ○kg/個)	袋③(規格 30kg/個)	箱④(規格 ○○kg/個)		中	小	合計	
全栽培面積	360.0 a					同じ数量				
全収穫量	RO/10/10	フレコン 5袋		12個	5,760kg		17		17	JA○○ ○○ TELOO
(上記面積からの全収穫量)	RO/10/12			3個	90kg		3		3	農産物直売所○○ ○○ TELOO
17,850 kg	RC/10/20	フレコン10袋		23個	11,490kg		33		33	JA○○ ○○ TELOO
全販売量 (特裁としての販売量)	17,250 kg									
合計(kg、枚)		16,200kg		1,140kg	17,250kg		53	0	53	

⑤ 様式第1号の個人毎の面積合計と一致する。

④ 容器のkg表示を忘れない

⑥ 上記の時期内の具体的な年月日を記入

⑦ 同じ数量

⑧ 合計行は、kg表示
セル「右クリック」→「セルの書式設定」→「ユーザー定義」→「###,##0"kg"」

⑨ ※数量が0の場合は理由も記入。
(例)自家消費、縁故米、一般米扱いなど

注 生産者毎に作成する

(様式第14号)

○ 発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

全国農業協同組合連合会
福島県本部長様

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名)○ (印)
(地区 ○)

特別栽培農産物認証票使用実績書

特別栽培農産物認証業務要領第15条第1項に基づき、次のとおり認証票の使用実績を報告します。

① 名称等で区分する場合、記入する。

1. 規格別使用数量及び廃棄数量

農産物名 (作型)	節減区分		規格別数量(枚)			備考 (名称)
			中	小	合計	
米・コシヒカリ (中通り平坦)	減・減	交付数	402		402	
		使用数	402		402	
		廃棄数	0		0	
米・コシヒカリ (中通り平坦)	減・不	交付数				② 様式第14号:申請(の種類)毎改行し作成する。 (例)JA〇〇から3申請あった場合: 1枚の用紙に3申請分を記入する。ただし 申請毎に記入する。
		使用数				
		廃棄数				
米・ひとめぼれ (中通り平坦)	減・減	交付数				③ 認証票は、その年に生産された農産物を認証するものです。余った認証シールを、翌年の表示に使うことはできません。
		使用数				
		廃棄数				
		交付数				
		使用数				
		廃棄数				

2. 上記の廃棄数量の処分方法

④ 廃棄数がある場合は、栽培責任者が生産者より回収し、焼却またはシュレッターで裁断するなど再利用不可能な状態にして処分方法を記載してください。

添付書類: 様式第14号別添 実績総括表(生産者別認証票使用枚数)を添付する。

(様式第25号)

全国農業協同組合連合会
福島県本部長様

圃場変更の場合

○ 発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

① 太枠網掛け内は変更前の内容を記入。

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名)○ ㊞
(地区 ○)

特別栽培農産物認証変更申請書

特別栽培農産物認証業務要領第20条1項に基づき、関係書類を添えて申請します。

② 変更後の内容

1. 変更内容 (名称、元気米コシヒカリ)

生産者登録番号	生産者名	農産物名 (作型、名称)	節減区分	圃場番号	圃場の所在地	栽培面積(a)	変更する事項	
							変更前	変更後
1001234567	福島 一郎	米・コシヒカリ	減・減	001	山田100	30.0a	30.0a	(1) 20.0a
1002345678	福島 二郎	米・コシヒカリ	減・減	002	山田200	30.0a	山田200 30.0a	(2) 山田200-2 25.0a

2. 変更する理由

- (1) 生産者の申告違いにより、栽培面積を変更する。
- (2) 散布道路拡幅により地番・栽培面積を変更する。

④ 地番・面積の変更
(5号、25号別添)

③ 変更する理由を記入する。

特に圃場追加は理由を明確に！。

注)関係書類を添付

様式第3号福島県特別栽培農産物栽培計画書、様式第3号別添使用予定資材の内容
様式第4号福島県特別栽培農産物出荷・販売計画書など、変更に係る書類
様式第25号別添(面積の変更、圃場追加のある場合)
など、変更に係る書類

(様式第25号)

資材変更の場合

○ 発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

全国農業協同組合連合会
福島県本部長様

① 太枠網掛け内は変更前の内容を記入。

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名)○ ㊤
(地区 ○)

特別栽培農産物認証変更申請書

特別栽培農産物認証業務要領第20条1項に基づき、関係書類を添えて申請します。

② 変更後の内容

1. 変更内容 (名称、元気米コシヒカリ)

生産者登録番号	生産者名	農産物名 (作型、名称)	節減区分	圃場番号	圃場の所在地	栽培面積(a)	変更する事項	
							変更前	変更後
全生産者	全生産者	米・コシヒカリ	減・減	全圃場	全圃場	-	オリゼメート粒剤	(1) コラトップ 1キロ粒剤 7/25 1回
全生産者	全生産者	米・コシヒカリ	減・減	全圃場	全圃場	-	追加	(2) リンチャー 1キロ粒剤 6/15 1回

2. 変更する理由

- (1) いもち病が多発したためいもち病防除剤を変更した
- (2) 残草が多いため除草剤を追加散布した

④ 地番・面積の変更
(5号、25号別添)

③ 変更する理由を記入する。

特に圃場追加は理由を明確に！

注)関係書類を添付

様式第3号福島県特別栽培農産物栽培計画書、様式第3号別添使用予定資材の内容
様式第4号福島県特別栽培農産物出荷・販売計画書など、変更に係る書類
様式第25号別添(面積の変更、圃場追加のある場合)
など、変更に係る書類

(様式第25-1号)

○ 発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

全国農業協同組合連合会
福島県本部長様

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名) ○ (印)
(地区 ○)



① JAのみ: ○○地区本部○支店

特別栽培農産物認証責任者等変更申請書

特別栽培農産物認証業務要領第20条1項に基づき、以下のとおり申請します。

1. 栽培農産物(作型)

(1) 農産物(作型): ○

(2) 節減区分: ○

(3) 名称(地区、型等): ○ ② 名称等で区分する場合、記入する。

2. 変更事項

(1) 栽培責任者

変更前 ○

変更後 ○

新栽培責任者役職 ○

職務内容 ○

農産物生産・指導経験 ○ 年

特別栽培農産物生産・指導 ○ 年

住所(勤務地) ○

連絡先 ○

(2) 確認責任者

変更前 ○

変更後 ○

新栽培責任者役職 ○

職務内容 ○

農産物生産・指導経験 ○ 年

特別栽培農産物生産・指導 ○ 年

住所(勤務地) ○

連絡先 ○

※変更事項のみ記入

3. 変更理由

○○○ ③ 理由を明記する

(様式第25-2号)

○ 発No. ○
令和 ○年 ○月 ○日

全国農業協同組合連合会
福島県本部長様

申請者(団体の場合は名称) ○
住所 ○
氏名(団体の場合は代表者氏名) ○(印)
(地区 ○)

① JAのみ: ○○地区本部○支

特別栽培農産物認証 申請者等変更申請書

特別栽培農産物認証業務要領第20条1項に基づき、以下のとおり申請します。

1. 栽培農産物(作型)

(1) 農産物(作型): ○

(2) 節減区分: ○

(3) 名称(地区、型等): ② 名称等で区分する場合、記入する。

2. 変更事項

(1) 申請者(名称)

変更前 ○

変更後 ○

住所(勤務地) ○

連絡先 ○

(2) 代表者(名称)

役職名 ○

変更前 ○

変更後 ○

役職名 ○

住所(勤務地) ○

連絡先 ○

(3) その他

3. 変更理由

○○ ③ 理由を明記

4. 添付資料

○○ ④ 必要資料の添付

変更に必要な書類

様式	第25号 (押印) 変更申請書	第25号別添 変更申請に伴う記載事項	第25号-1 (押印) 責任者等 変更申請書	第25号-2 (押印) 申請者等 変更申請書	第3号 (変更後) 栽培計画書	第3号別添 (変更後) 使用予定 資材の内容	第5号 (変更後) 圃場概要書	資材の成分・ 原料等の証明 (カタログ等)	第26号 (押印) 中止届
圃場の 変更・ 追加	○	○ 圃場追加: 5月末まで (基本)					○		
資材の 変更・ 追加	○				○	○		○ (農薬以外の 新規資材: 成分・原料 証明書)	
責任者等 の変更			○						
生産者変 更 (相続・経営 移譲等)	○	○ 生産者番号、 住所、氏名、 圃場						○ 法人の設立・名 称変更等:登記 事項証明書(コ ピー)	
申請者等 の変更				○					
申請中止、 (圃場の 一部中止)									○

注意:「資材の成分・原料等の証明」は、農薬については農林水産省農薬登録情報システムで確認できるため不要
農薬です、農薬以外の資材は「資材の成分・原料等の証明」(カタログ等)を準備してください。

変更・中止の理由は、**具体的に**記入願います。